

# 町議会 長島町 定例会

## 分庁方式から本所・支所方式へ

### 平成33年4月から指江支所に

平成29年第2回長島町議会定例会が6月12日に開かれ、長島町の事務所の位置等を定める条例の一部を改正する条例や、長島町役場支所設置条例、平成29年度長島町一般会計補正予算（3億2366万6千円増額、総額102億8388万1千円）、町有財産の無償貸付など計12議案が上程・可決されました。このほか、平成28年度長島町繰越明許費繰越計算書を報告し、承認されました。

#### 長島町役場支所設置条例などを可決

平成18年3月に新長島町が誕生して以来、町では、両庁舎に総合支所の機能を持たせた分庁方式を採用し、合併直後の混乱や、行政サービスの低下を防ぐ行政運営を行ってきました。

この分庁方式は、それぞれの庁舎を有効活用することで、庁舎改修費を抑えることができるメリットがある一方で、業務ごとに窓口がある庁舎が異なるために、町民へ負担がかかったり、複数部門にまたがる業務の調整が困難で非効率であったりというデメリットがありました。

これらのことから、平成18年12月の長島町行政改革推進委員会（第一次）や、平成24年3月の長島町町有施設のあり方検討

↑平成33年4月から指江支所となる役場指江庁舎



委員会、平成26年2月の長島町行政改革推進委員会（第二次）から、新たな行政課題など迅速に対応するための機動的な人員配置や柔軟性のある組織・機構を確立するとともに、庁舎利用の機能については、本所・支所方式へ移行を進めるよう答申が出され、今回の条例改正・制定上程となりました。

今回可決された条例により、現在の指江庁舎は、平成33年4月から住民生活に直接関わりのある窓口業務などの事務を主にを行う指江支所へと移行します。

#### 指江支所の利活用について

支所への移行後、窓口業務は行うものの、多くのスペースが余ることになる指江支所の今後の利活用については、平成28年7月に、指江庁舎利活用検討委員会へ諮問しており、同委員会では審議を重ね、平成28年11月に指江庁舎の利活用案として①図書館の設置②生涯学習施設の設置③高齢者福祉施設の設置④高齢者を対象とした健康スポーツジム・教室の開設⑤北薩森林

組合長島支所の誘致⑥スポーツ少年団などの人口交流宿泊施設⑦コンビニエンスストアの誘致など7項目を、周辺地域の活性化施策とともに、利活用に関する基本方針として答申しています。

このほか、ジャガイモの種苗生産技術の研究などで包括的連携協定を結んでいる、長岡技術科学大学のキャンパス誘致に活用するなどの意見も出ています。

今後は、地域の様々な活性化策などを検討し、有効な利活用方法を決定することになります。

#### 補正予算に計上された 主な事業

- 総務課**
  - 多目的広場整備に伴う工事設計委託 2229万2千円
  - サンセット長島解体工事設計業務委託 419万6千円
  - 長島の魅力を描き出す映画制作委託 1000万円
  - 田尻班消防団車両格納庫新設工事 2915万3千円
- 企画財政課**
  - 獅子島フェア・ウオーク開催 430万円
- 水産商工課**
  - 汐見地区藻場造成事業 1500万円
  - 特定離島ふるさとおこし推進事業（2事業） 2255万8千円
  - 漁港水域機能保全測量計画策定業務委託（伊唐北、観音、大島、汐見） 1200万円
- 景観推進課**
  - だんだん市場新設駐車場実施設計業務委託 153万9千円
  - ガードケーブル整備事業 1042万4千円
- 水道課**
  - 藤之元口之福浦港線の送・配水管布設工事 500万円
- 農林課**
  - 革新的種イモ生産技術の研究委託事業 1000万円
  - イノシシ進入防止柵設置 1266万3千円
  - 獅子島地区林道整備事業 978万8千円
- 耕地課**
  - 獅子島片側地区モノレール取替工事 3640万4千円
  - 広野地区ほ場整備事業 4000万円
- 建設課**
  - 母良木地区の急傾斜地崩壊対策事業 610万円
  - 特定離島ふるさとおこし推進事業（2事業） 1701万6千円
- 社会教育課**
  - 総合運動公園整備事業 5800万円
- 教育総務課**
  - 鷹巣小学校耐力度調査 479万4千円